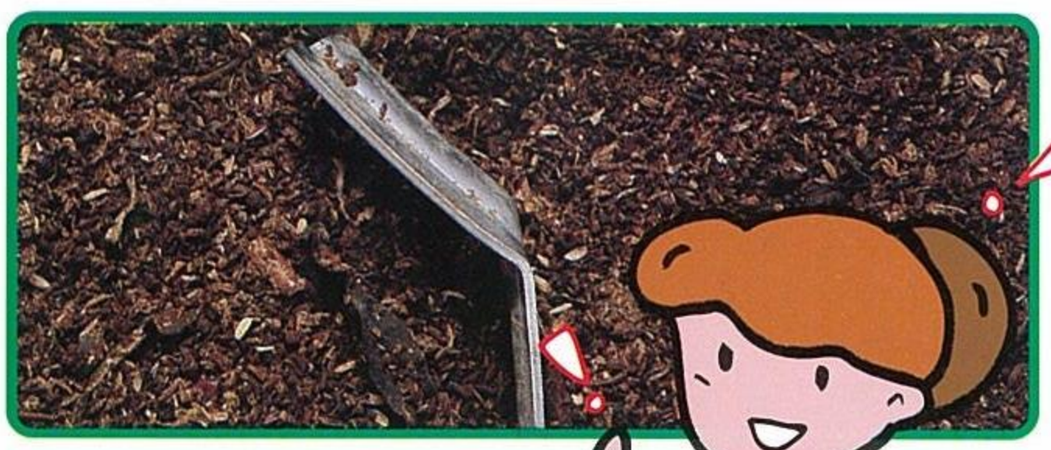
籾殻交換・補充の目安

使い始め 約1週間～10日目

籾殻、活性炭、エコロンポ菌を入れた状態…サラサラしている。

良好な分解状態

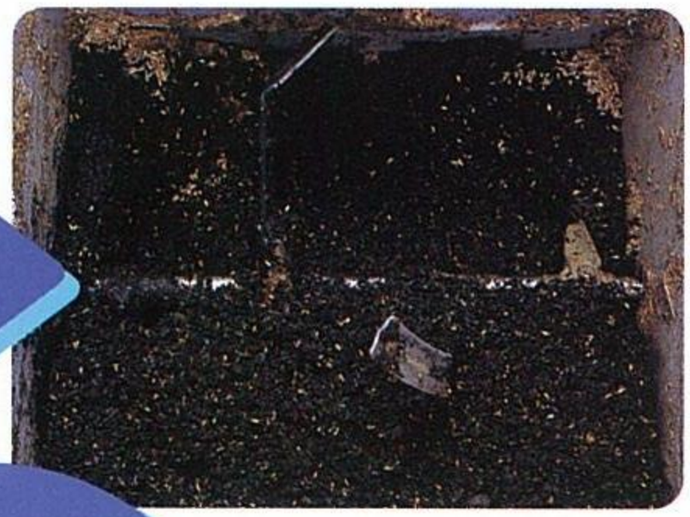
使い始めよりもやや湿り気味で茶褐色に変化している。ニオイはかすかな堆肥臭。



籾殻追加のタイミング

常に**「しっとり」**として**「フワッ」**とした状態を保つように籾殻を追加してください。
以下のような状態の時には籾殻を追加し、状態が改善されるまで様子を見てください。

撹拌軸が見える場合



適量まで(裏面の図参照)**籾殻を追加**します。

ベタついている場合

投入量過剰・水分が多い

2～3日は投入量を通常の**6～8割**に控え、**約10ℓの籾殻を追加**します。

ニオイがする場合

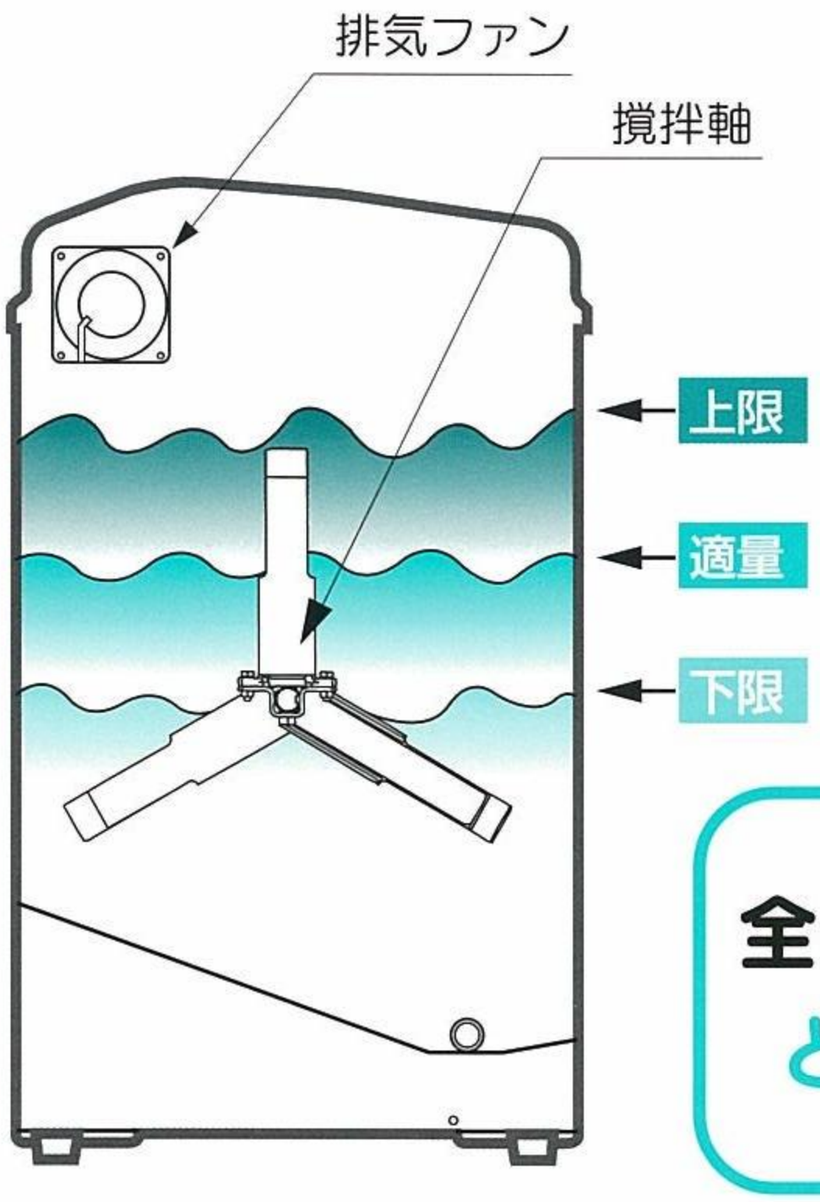
生魚のアラ・ニオイの強いものを投入した時

約10ℓの籾殻を追加し、2～3日ごみの投入を控えてください。

全量交換の目安

次のような場合には、取扱説明書の「堆肥の取り出し方」を参考に、全量排出を行ってください。

交換を行わなかった場合、撹拌羽根や本体が故障する恐れがあります。



① 半年(6ヶ月)以上が経過した

② 内容物が増加しすぎている

撹拌羽根が全部隠れてしまう。

③ 内容物が固まってしまった

全量交換後は、排出した内容物を種菌として約10ℓ戻し入れてください。

取り出した内容物は…

堆肥としてご利用ください。堆肥は生ごみの成分によって異なりますが、コマツナやほうれん草などの葉野菜を育てるのに適しています。ただし、生ごみ堆肥は養分が強いため、プランターなどへ用いる場合は、10倍以上に土で薄めてください。